

チャバネアオカメムシの発生状況（第15報）

令和8（2026）年9月3日

河内農業振興事務所

1 河内管内のフェロモントラップ誘殺状況について

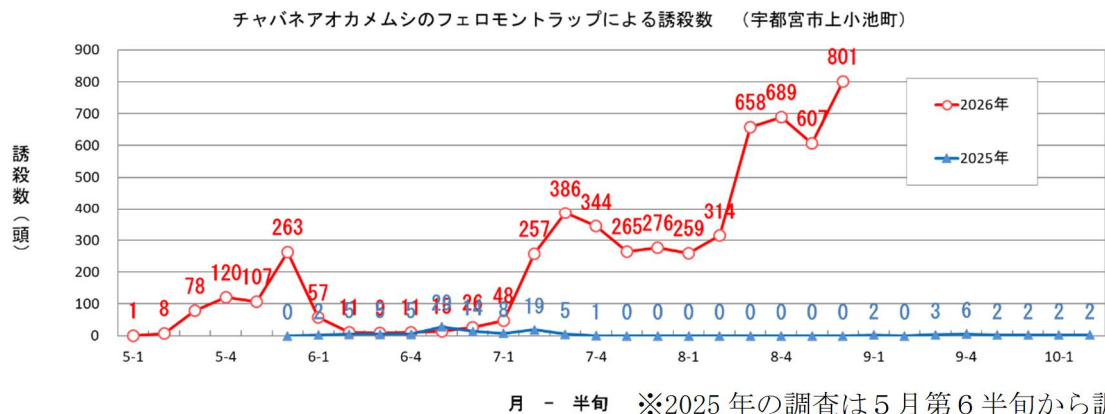
上小池町の誘殺数は8月第5半旬に比べ増加しています。また、瓦谷町は減少したものの、古賀志町は増加し、平年に比べ多くなっています（表1）。果樹カメムシ類の発生が平年に比べ多くなっているため、飛来を確認した場合には薬剤防除を行いましょう。また、多目的防災網の破れや隙間がないか念入りに確認を行い、破損等がある場合には速やかに補修を行いましょう。

なお、県内の病害虫発生予察情報については、県農業総合研究センターホームページ（<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>）で随時公開中です。また、栃木県防災LINEでも情報提供を行っています。

表1 チャバネアオカメムシの誘殺頭数（河内管内）

調査地点 調査時期	上小池町※ ¹		瓦谷町※ ²			古賀志町※ ²		
	R 8	R 7	R 8	R 7	平年	R 8	R 7	平年
8月第4半旬	689	0	559	0	48	192	0	69
8月第5半旬	607	0	476	0	39	158	0	53
8月第6半旬	801 ↗	0	392 ↗	2	26	190 ↗	0	45

※1 河内農業振興事務所独自調査 ※2 県農業総合研究センター調べ ※3 矢印は平年比較



2 県内設置のフェロモントラップ誘殺状況について

県内各地の誘殺状況は表2のとおりです。全地点で誘殺数は平年より多く推移しており、特に那須烏山市は県内で最も多くなっています。

表2 チャバネアオカメムシ誘殺頭数（河内管内以外） ※矢印は平年比較

調査地点 調査時期	芳賀町		那須烏山市		矢板市		佐野市	
	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年
8月第4半旬	304	14	812	17	55	39	12	5
8月第5半旬	324	14	690	11	56	41	13	3
8月第6半旬	170 ↗	11	828 ↗	13	67 ↗	30	10 ↗	2

県農業総合研究センター
発生予察情報



栃木県防災 LINE
(LINEID ; @756bxcgu)

